

■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会(EGC: EXEDY Global Clean)を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



2012年度実績と2013年度目標

項目	2012年度		2013年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 省エネ法による 原単位: 前年度比1%レス	*1 原単位: 38.0 トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比2%増 38.7→39.6 トン-CO ₂ /億円	原単位: 39.5 トン-CO ₂ /億円
3Rの推進 「新ゼロエミッション」達成	原単位: 産廃排出量: 0.15トン/億円	原単位: 前年度比12%減 0.17→0.15 トン/億円	原単位: 0.147 トン/億円
	リサイクル率: 98%	リサイクル率: 96%	リサイクル率: 98%
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	*3 PRTR法に基づく管理	*4 行政及び部工会へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	試作の評価と 量産移行・受注の獲得	試作納入済み	低燃費製品量産開始
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム 鉛廃止推進の継続	6価クロム 順次廃止継続中	補修部品の6価クロム 鉛廃止推進の継続

*1 原単位: CO₂ 排出量/売上高 *2 3R: リデュース・リユース・リサイクル *3 PRTR法: 化学物質の排出・移動量届出制度 *4 部工会: 日本自動車部品工業会

■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2012年度 環境保全コスト

(単位: 百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	9	101	雨水分離槽補強, 浄化設備補修
地球環境保全	176	58	太陽光発電パネル・空調負荷軽減システム導入
資源循環	4	98	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	22	26	環境月間イベント, ISO更新審査
研究活動	0	99	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	8	20	事業所内の緑化, 防災公園整備
合計	219	402	
総計		621	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

< 経済効果 >

(単位: 百万円)

効果項目	2010年度	2011年度	2012年度
CO ₂ 削減の低減	103	49	36
廃棄物処理費用の低減	0	14	0
有価物の売却	1,014	881	885
合計	1,117	944	921

< 物量効果 >

効果項目	2010年度	2011年度	2012年度
産業廃棄物排出量*5	172トン	194トン	164トン
CO ₂ 排出量	43.7千トン-CO ₂	43.2千トン-CO ₂	43.5千トン-CO ₂

*5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001更新審査

2012年4月23日～26日の4日間にわたり、JQAによるISO14001更新審査が行われました。今回の審査では「省エネ」及び「資源循環」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<< 審査及び監査結果 >>

年度	更新審査 (2012/4月)	内部環境監査 (2013/3月)	
		重大な不適合	軽微な不適合
2012	0件	0件	10件
	27件		38件